

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。



健康寿命日本一を目指した健康づくりの推進

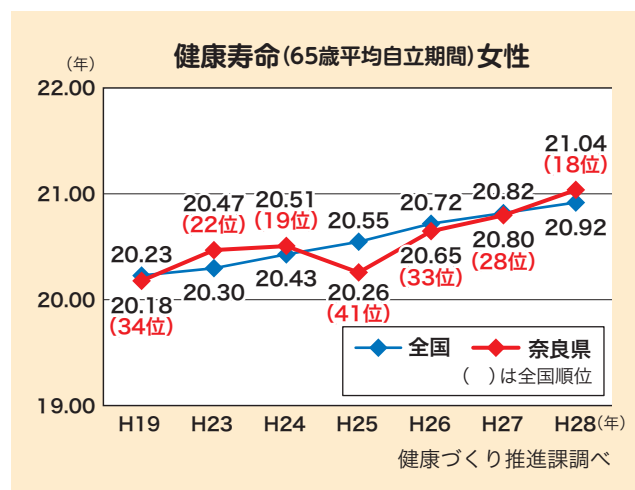
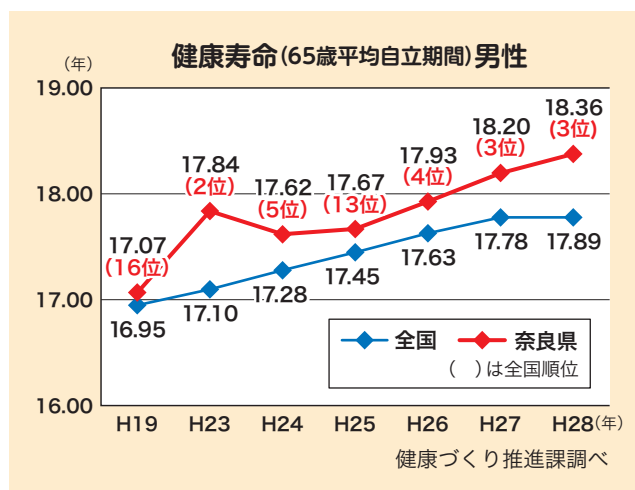
主担当部局：医療政策局



がんを知る展(奈良市)

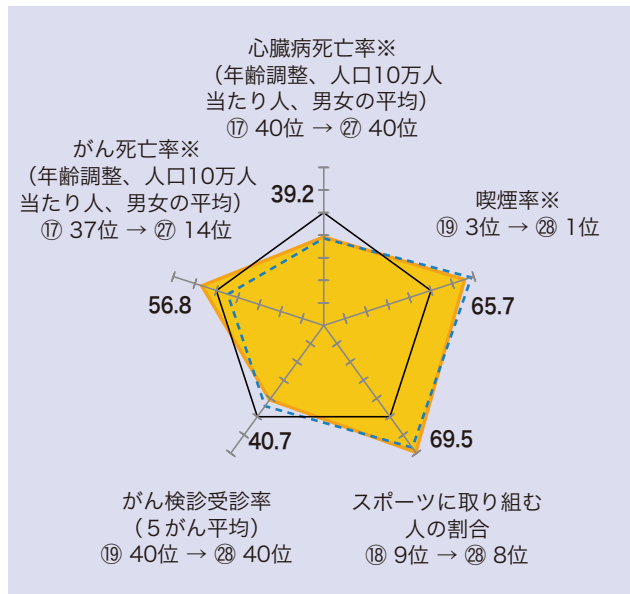
目指す姿

平成34(2022)年度までに、**県民の健康寿命**(65歳平均自立期間)を**男女とも日本一**にします。

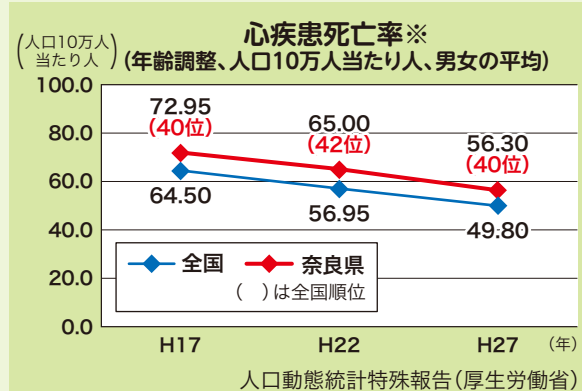


目指す姿を達成するための取組状況

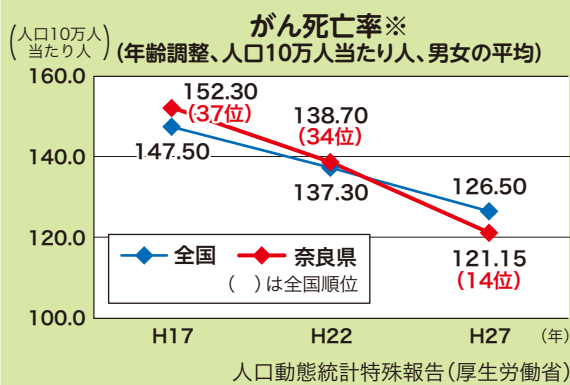
●現状



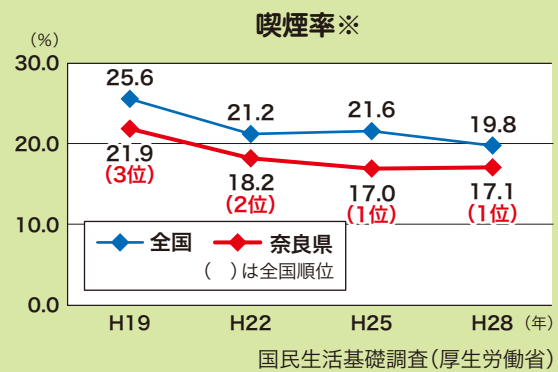
●トレンド



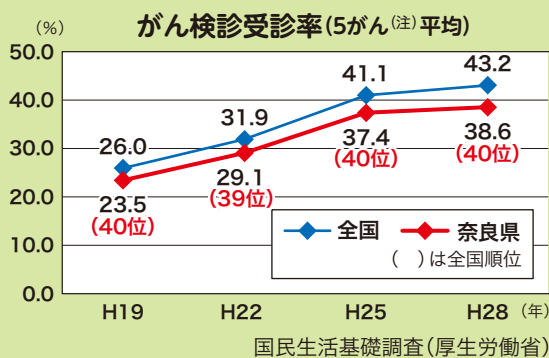
心臓病死亡率は、平成17年と比較して16.65ポイント低下していますが、依然全国平均より高い数値となっています。



がん死亡率は、平成17年と比較して31.15ポイント低下しており、全国平均よりも低くなっています。

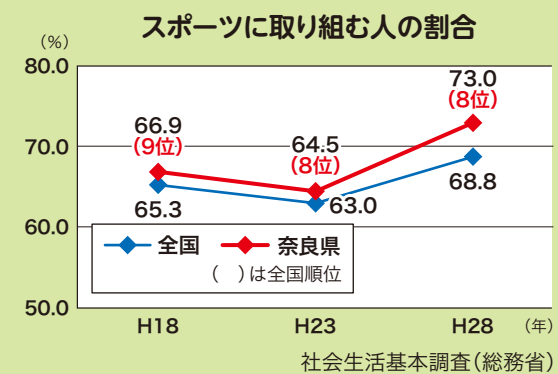


喫煙率は、平成19年と比較して4.8ポイント低下しており、全国1位となりました。



(注)5がん…胃、肺、大腸、乳房、子宮頸部の5つの部位のがん

がん検診の受診率は、平成19年と比較して15.1ポイント上昇しましたが、全国と比較すると低い状態が続いています。



スポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比較して6.1ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



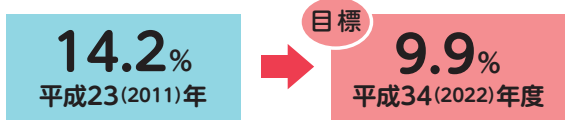
戦略 1

健康寿命を延伸するため、禁煙や減塩等の健康的な生活習慣の普及を進めます。

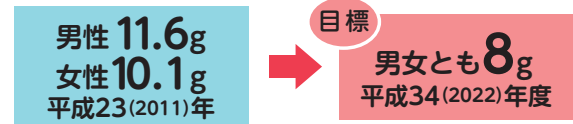
主担当課：医療政策局 健康推進課

戦略目標

成人県民の喫煙率※



食塩摂取量※



野菜摂取量



運動習慣者の割合



※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
たばこ対策の推進	禁煙支援協力薬局の登録、県民への情報提供		
減塩対策の推進	市町村での減塩プログラムの活用促進、減塩教室の推進		
野菜摂取の推進	まほろば元気100菜プロジェクトの推進		
運動の推進	健康ステーションの設置(おでかけ健康法実践者の拡大)		



奈良県健康ステーション(橿原)



県民健康づくりイベント(大和郡山市)

戦略 2

介護予防や歯科口腔保健等を推進し、要介護状態になる人を減らします。

主担当課：医療政策局 健康推進課

戦略目標

平均要介護期間※

男性 1.58年
女性 3.22年
平成23(2011)年

目標 男女とも
全国平均以下
平成34(2022)年度

歯科医師による定期的なチェック (1年に1回)を受けている人の割合

男性 33.0%
女性 39.6%
平成23(2011)年度

目標 男女とも **50%以上**
平成34(2022)年度

糖尿病性腎症による新規人工透析 導入患者数※

197人
平成26(2014)年度～
28(2016)年度
2年間の平均

目標 **減少**
平成35(2023)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
介護予防の推進	地域づくりによる介護予防(住民運営の通いの場)の普及展開に向けた支援		
歯科口腔保健の推進	口腔保健支援センターの設置	市町村を対象とした講習会等による技術的支援	
保健事業の推進	(仮称)国保事務支援センター等と連携した市町村の保健事業への支援		
糖尿病の治療勧奨	地域における治療勧奨、保健指導の支援		



特定保健指導スキルアップ研修会(檀原市)



奈良県高齢者いい歯のコンクール(奈良市)



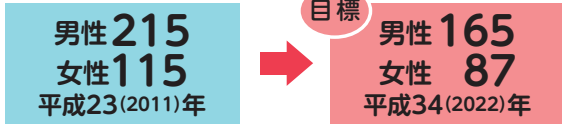
戦略 3

がん等の疾病の早期発見や自殺予防対策を推進し、**65歳未満の死亡率(早世)**を減らします。

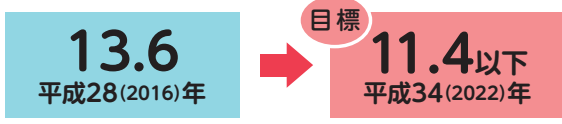
主担当課：医療政策局 疾病対策課

戦略目標

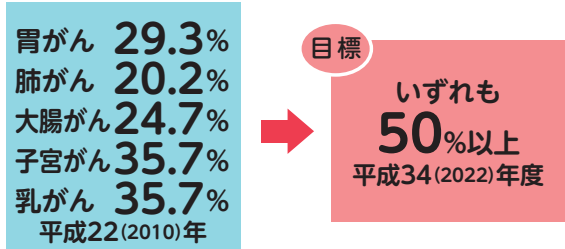
65歳未満の死亡率(人口10万人当たり人)※



自殺死亡率(人口10万人当たり人)※



がん検診受診率



※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
行政、医療保険者、企業等の連携によるがん検診の推進	「がん検診を受けよう!」奈良県民会議の会員によるがん検診受診普及啓発の推進		
自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成	(仮称)自殺対策支援センターの設置	(仮称)自殺対策支援センターの運営	
	市町村等におけるゲートキーパーの養成と相談支援の実践		



「がん検診を受けよう!」奈良県民会議(奈良市)



(同左)



なら健康フェア(橿原市)



なら健康フェア(野菜摂取の推進)(橿原市)



がん検診受診啓発キャンペーン(上牧町)

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。



だれもが、いつでも、どこでも、 スポーツに親しめる環境づくり

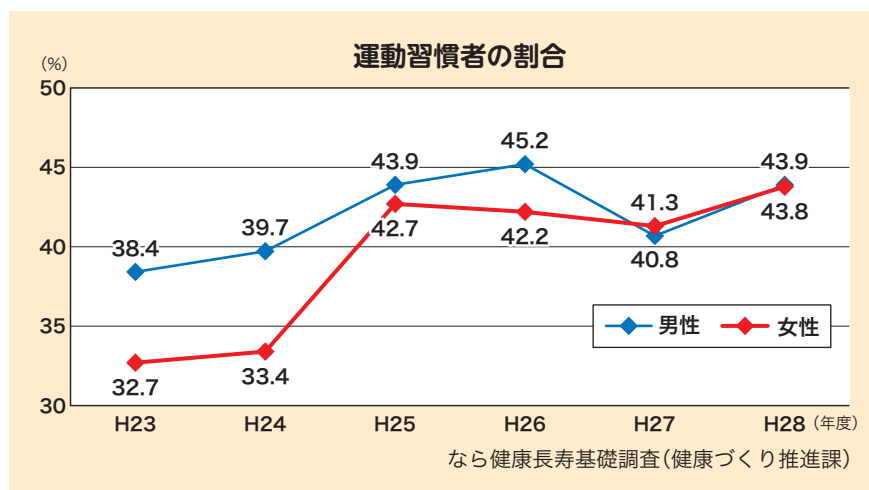
主担当部局：くらし創造部



奈良マラソン 2017

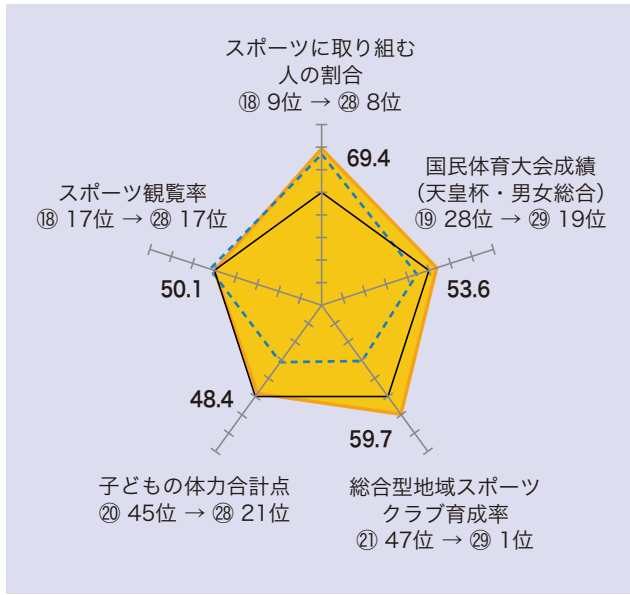
目指す姿

平成34(2022)年度までに、**運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人)の割合を50%以上に増やします。**

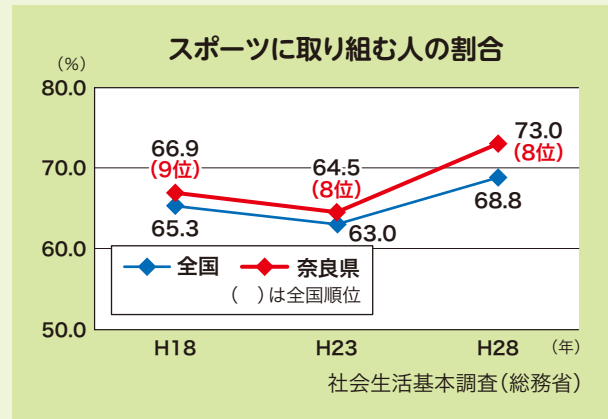


目指す姿を達成するための取組状況

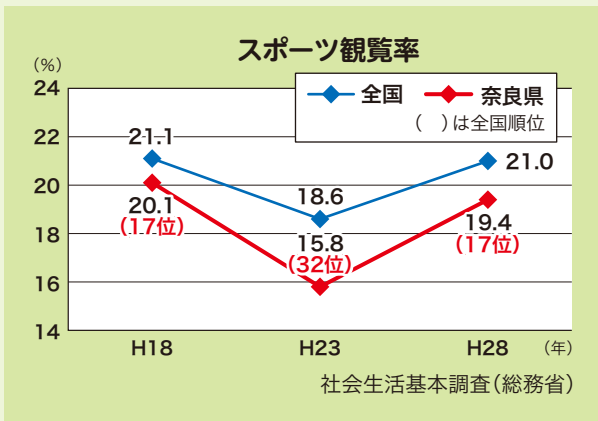
● 現状



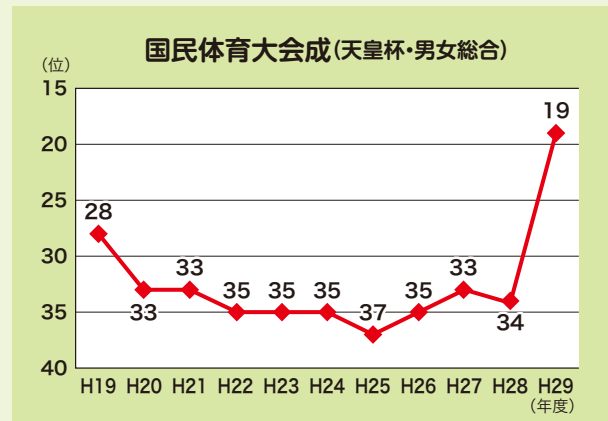
● トレンド



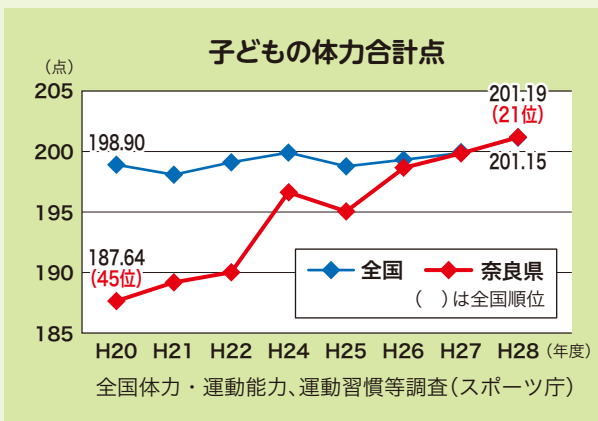
スポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比較して6.1ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



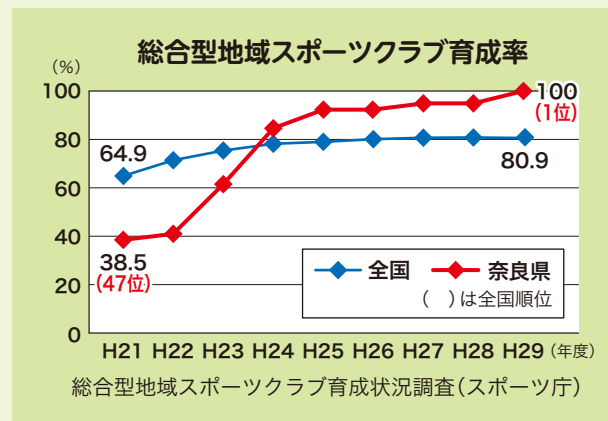
スポーツ観覧率は、平成28年の全国順位は17位ですが、全国平均よりも低い率で推移しています。



競技力向上の取組により、平成29年度の国民体育大会(天皇杯・男女総合)の成績は、30年ぶりに10位台となりました。



子どもの体力合計点は、年々上昇しており、全国平均に近接しています。



総合型地域スポーツクラブ育成率は、運営の支援等を行ってきた結果、全市町村でクラブが設立され、平成29年度に100%を達成しました。

だれもが、いつでも、どこでも、スポーツに親しめる環境づくり



戦略 1

ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進を図ります。

担当当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ
交流大会)の参加者数

1,149人
平成24(2012)年度

目標
→

10,000人
平成34(2022)年度

1日に1時間以上運動・スポーツをする
小学5年生・中学2年生の割合

小学5年生41.0%
中学2年生69.7%
平成28(2016)年度

目標
→

小学5年生55%以上
中学2年生75%以上
平成34(2022)年度

プロスポーツ等の試合数

5試合
平成24(2012)年度

目標
→

60試合
平成34(2022)年度

橿原公苑年間利用者数

301,330人
平成24(2012)年度

目標
→

330,000人
平成34(2022)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進	総合型地域スポーツクラブ活動の質の充実に対する支援		
子どもを健やかに育むスポーツの推進	幼稚園等への幼児向け運動プログラムの普及に向けた取組の実施		
	学校部活動への外部指導者派遣、部活動指導員の配置		
トップアスリート等との連携によるスポーツの推進	交流イベントやスポーツ教室の実施		
スポーツ施設の整備・活用	中長期的な スポーツ施設整備 ビジョンの策定	● ビジョン 策定	● 計画的な 施設整備
	● ビジョン 策定	● 計画的な 施設整備	● 計画的な 施設整備



トップアスリートとの交流(橿原公苑陸上競技場)



幼児期運動プログラムの実践(近畿大学附属幼稚園)

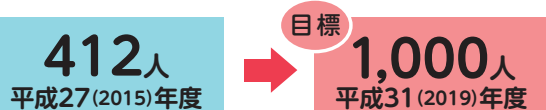
戦略 2

参加型スポーツイベントの開催やスポーツツーリズムの展開により、地域への誘客を促進するなど、**スポーツを通じた地域振興**を図ります。

主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

奈良マラソンへの海外からのエントリー数



スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数



国際大会の事前キャンプ地招致件数
(ラグビーワールドカップ(2019年)、
東京オリンピック・パラリンピック(2020年))



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
参加型スポーツイベントの実施	奈良マラソン、リレーマラソン大会等の実施 <small>●奈良マラソン2019(第10回記念大会)</small>		
スポーツツーリズムの推進	サイクルスポーツイベント・ アウトドアチャレンジレース等の開催支援		
東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進	ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・ パラリンピックキャンプ地招致及び国際交流の促進		



香港代表水泳チームとの交流(知事室)



ツアー・オブ・奈良・まほろば(宇陀市他5市村)

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。



県民が健やかに安心して暮らせる 地域医療・介護・福祉の総合的な取組の 推進

主担当部局：福祉医療部、医療・介護保険局、医療政策局



奈良県防災総合訓練(医療救護訓練)(生駒山麓公園)

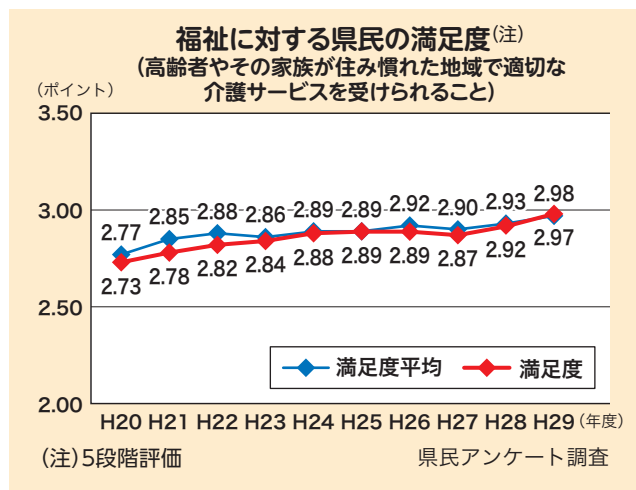
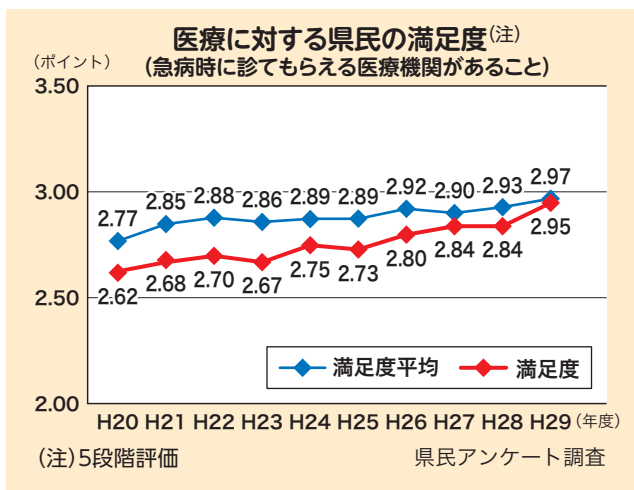


ならシニア元気フェスタ(橿原市)

目指す姿

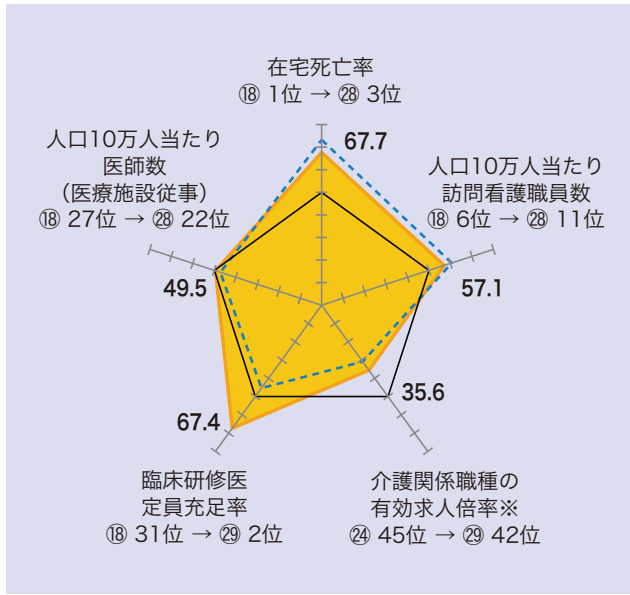
県民アンケート調査における

- ・医療に対する県民の満足度のポイント(急病時に診てもらえる医療機関があること)
 - ・福祉に対する県民の満足度のポイント(高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること)
- を毎年度向上させます。

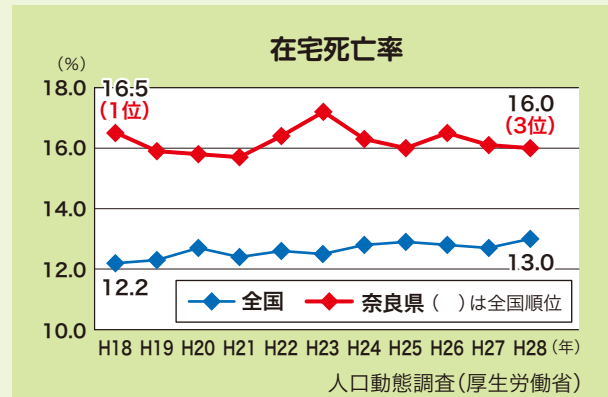


目指す姿を達成するための取組状況

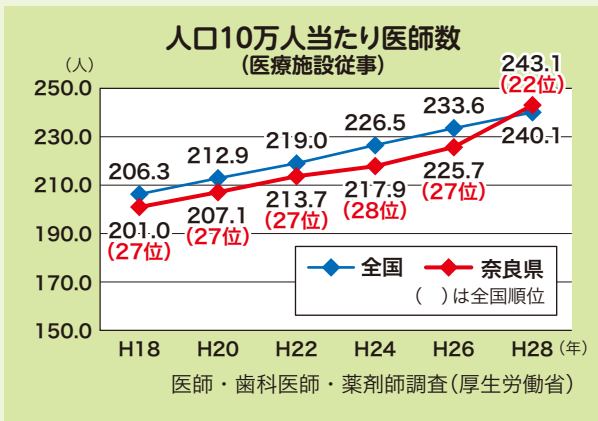
● 現状



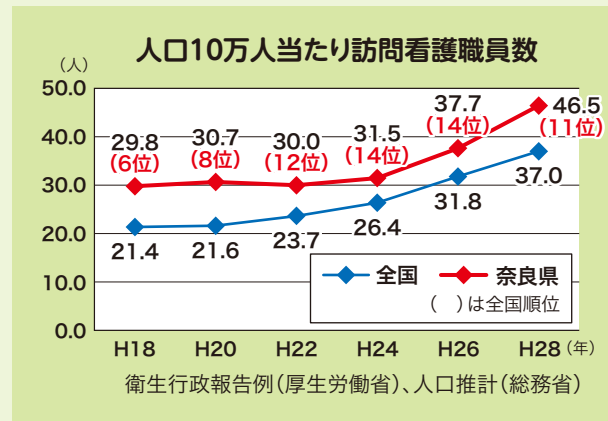
● トレンド



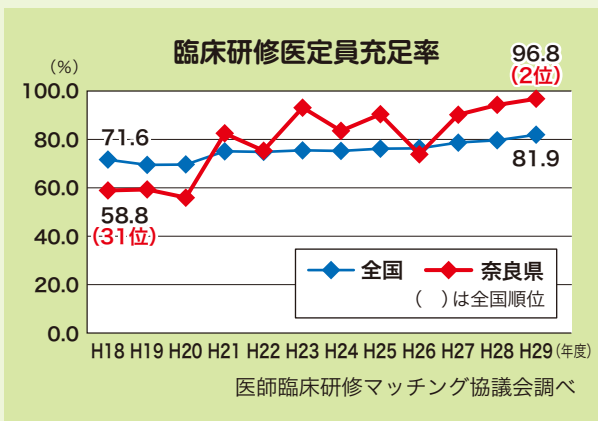
在宅死亡率は、平成18年と比較して0.5ポイント低下しましたが、全国平均と比較すると高水準で推移しています。



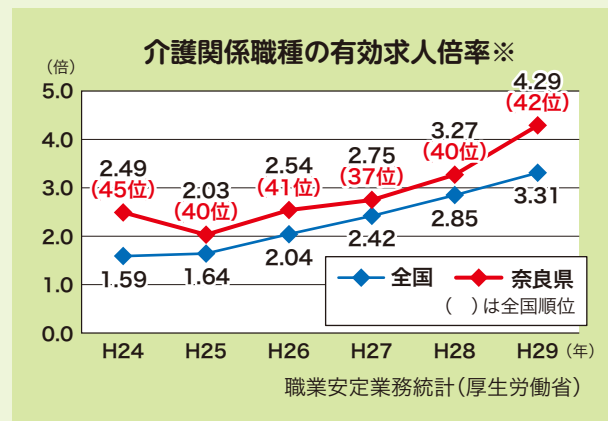
これまで全国平均を下回る水準で推移していましたが、総合的な医師確保対策により、人口10万人当たり医師数は、全国平均を上回りました。



看護師の確保や質の向上に取り組んだことにより、人口10万人当たり訪問看護職員数は、平成18年と比較して16.7ポイント上昇し、全国でも上位を維持しています。



臨床研修を実施する9病院と県が連携して臨床研修医の確保に取り組んだことにより、臨床研修医定員充足率は上昇しました。



介護関係職種の有効求人倍率は、平成24年と比較して1.80ポイント上昇しており、全国との差が広がっています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

県内各地において、高度医療の需要に対応できる提供体制を構築します。

主担当課：医療政策局 病院マネジメント課

戦略目標

奈良県総合医療センターの
がん治療件数^(注)

9,492件
平成28(2016)年度



目標
12,500件
平成32(2020)年度

奈良県立医科大学附属病院の
がん治療件数^(注)

34,298件
平成28(2016)年度



目標
35,000件
平成30(2018)年度

(注)がん治療件数…放射線治療及び化学療法の合計件数

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
奈良県総合医療センターの充実(北和地域)	● 開院	供用、診療機能の段階的充実	
奈良県立医科大学附属病院の充実(中南和地域)	診療機能の段階的充実		



平成30年5月1日に開院する新奈良県総合医療センター



PET/CT検査室(奈良県立医科大学附属病院E病棟)

戦略 2

救急医療・周産期医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策局 地域医療連携課

戦略目標

医療機関に受入の照会を行った回数が
4回以上の割合(重症患者の傷病者搬送事案)※

8.6%

平成27(2015)年



目標

2.7%

平成35(2023)年

ハイリスク母体搬送のうち
県内医療機関で受け入れた割合

90.4%

平成28(2016)年



目標

100%

平成35(2023)年

119番通報から病院が受け入れるまでに
要した時間※

44.3分

平成27(2015)年



目標

全国平均
より短縮

平成32(2020)年

(平成28年の全国平均:39.3分)

※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
重症疾患における救急搬送体制の整備	救急搬送ルールの運用・見直し		
救急医療に関する相談への対応	救急安心センター(#7119)・ こども救急電話相談(#8000)の運営		
ER型救急医療体制の構築	奈良県総合医療センター及び 奈良県立医科大学附属病院におけるERの運用		
ドクターヘリを活用した救急医療の充実	ドクターヘリの効果的な運航		
「断らない病院」の機能強化	医療機関の機能分化と連携の推進、 病院の診療機能や医療データの見える化の推進		



奈良県ドクターヘリ



病院の手術室

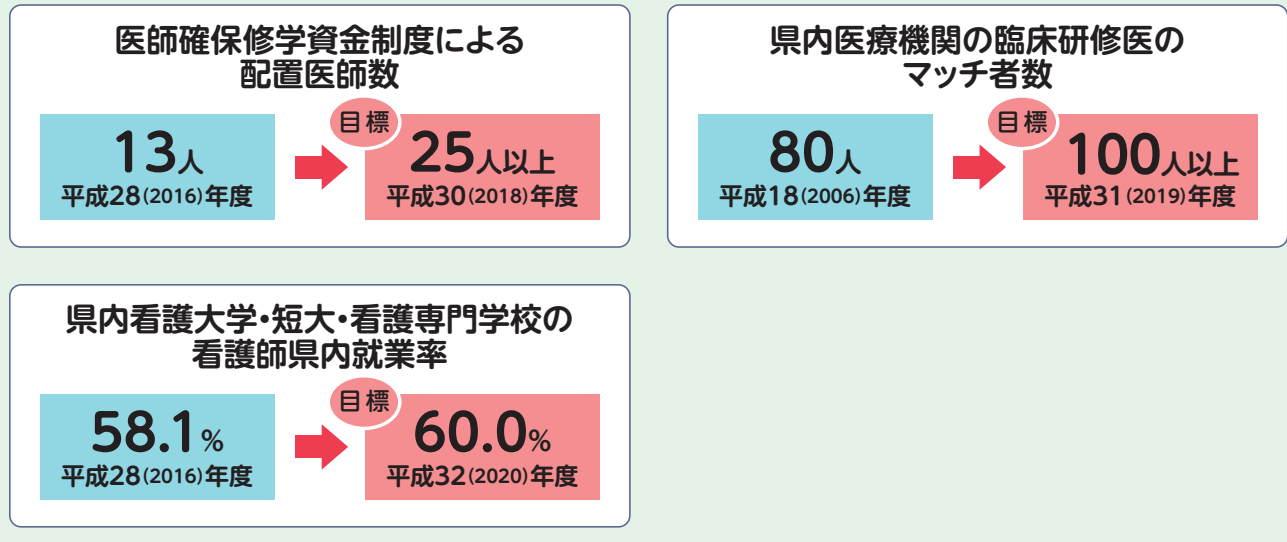


戦略 3

医師・看護師等の確保と質の向上を図ります。

主担当課：医療政策局 医師・看護師確保対策室

戦略目標



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
医師の確保・養成支援	医師確保修学資金の貸与、 県費奨学生・自治医科大学医師の配置		
魅力ある研修体制の構築	臨床研修病院への支援、総合診療医の育成支援		
看護師等の新規就業者の確保	看護師等養成所の運営支援、看護師等修学資金の貸与等		
看護の質向上	認定看護師等、特定行為研修の資格取得支援		



診察風景(野迫川診療所)



学内演習風景(奈良県立病院機構看護専門学校)

戦略 4

地域医療構想の実現に向け地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策局 地域医療連携課

戦略目標

退院支援加算^(注)届出病院数

退院支援加算1 **15**病院
退院支援加算2 **18**病院
平成29(2017)年4月

目標

毎年度
増加

医療機関に受入の照会を行った回数が
4回以上の割合(重症患者の傷病者搬送事案)※

8.6%

平成27(2015)年

目標

2.7%

平成35(2023)年

(注)退院支援加算

入院患者が、早期に住み慣れた地域で療養や生活が継続できるよう、患者の退院支援を行うことを評価した診療報酬上の加算のことです。退院支援加算1は、退院支援加算2よりもさらに積極的な退院支援を行う内容です。

訪問診療を実施する診療所・病院数

385施設

平成27(2015)年度

目標

458施設

平成32(2020)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
「断らない病院」「面倒見のいい病院」の機能強化	医療機関の機能分化と連携の推進、 病院の診療機能や医療データの見える化の推進		
多職種が連携した在宅医療提供体制の構築の推進	推進会議の開催、医師会・市町村等への支援		
地域医療・介護連携ICTネットワークの推進	開発・構築・一部施行・検証		
効率的な医療提供と県民負担の均てん化	地域医療構想・医療費適正化・国保県単位化の一体的推進		
医療事故情報の収集・分析・情報共有	奈良県医療安全推進センターの運営支援		

断らない病院

- 総合的な機能を有する病院
- 緊急で重症の患者の受入
- 後方病院等との病病連携



面倒見のいい病院

- 医療と介護の融合した病院
- 在宅復帰、在宅医療・介護
- かかりつけ患者等の救急、増悪対応





戦略 5

介護サービス基盤の整備や地域包括ケアシステムの構築・深化により、**高齢者が生きがいを持って安心して暮らすことができるようになります。**

担当課：医療・介護保険局 介護保険課

戦略目標

居宅で介護サービスを受ける
高齢者の割合

82.9%

平成28(2016)年度

目標

84.0%

平成32(2020)年度

特別養護老人ホームの定員数

6,755人

平成28(2016)年度

目標

7,665人

平成32(2020)年度

運動習慣者の割合

43.8%

平成28(2016)年度

目標

50.0%以上

平成34(2022)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
地域包括ケアシステムの構築・深化	在宅医療・介護の提供体制の整備と連携、暮らしやすい住まいづくり・まちづくりの推進		
介護人材の確保、介護保険制度の持続的・安定的な運営	介護人材の確保・育成、介護給付の適正化の推進		
高齢者の生きがいづくりの推進	健康づくり・介護予防の推進、社会参加の促進		



介護職場の体験(桜井市)



第46回奈良県高齢者美術展(奈良市)

戦略 6

障害者雇用や社会参加の促進等に取り組み、障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会を実現します。 主担当課：福祉医療部 障害福祉課

戦略目標

障害者雇用率の全国順位



障害者の平均工賃月額



障害者のグループホームの定員数



まほろば「あいサポーター」(注)数



(注)まほろば「あいサポーター」
… 障害の特性や必要な配慮等を理解し、
障害のある方の日常生活の手助けをする人

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
障害者の職場実習機会の拡大、充実	就労連携コーディネーターやジョブサポーターによる支援		
障害者の工賃向上及び雇用促進	優先調達への推進、売れる商品づくりの推進		
障害者の住まいの充実	障害者施設・グループホーム整備に対する助成		
障害者の社会参加の促進	あいサポーターの養成、あいサポート企業・団体の認定、フォーラムの開催		



障害者政策推進トップフォーラム(奈良市)



みんなの手話言語フェスティバル(橿原市)



戦略 7

「支え合い」活動や地域福祉の担い手づくりを推進し、安心して暮らすことができる地域社会を実現します。 主担当課：福祉医療部 地域福祉課

戦略目標

小さな拠点モデル地区での
地域の高齢者によるサロン利用者割合

0%

平成27(2015)年度

目標

20%以上

平成30(2018)年度

コミュニティソーシャルワーカー
登録者数

0人

平成27(2015)年度

目標

100人以上

平成30(2018)年度

奈良県福祉・介護事業所認証制度の
認証事業所数

0事業所

平成27(2015)年度

目標

360事業所

平成31(2019)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
小さな拠点モデル事業実施による「支え合い」活動の推進	モデル事業の実施	モデル事業の成果の県域への普及	
コミュニティソーシャルワーク活動の充実	養成	活動の充実	
民生・児童委員活動の推進	民生・児童委員への研修・活動に対する助言、相談等の実施		
奈良県福祉・介護事業所認証制度の運用	関係機関との協働・連携による取組の実践、認証制度の運用		
生活困窮者等の自立支援の充実	生活困窮者等への自立支援相談		



コミュニティソーシャルワーカー養成研修(橿原市)



安心して働く事ができる福祉・介護の職場



みんなのスポーツフェスティバルin奈良2017(橿原市)



生きがいワーク支援団体(下市町)



通いの場の様子(体操の日に合わせたスーパーの移動販売)(高取町)